

授業科目名 (英文名)	経営データ概論 (社会情報・専門科目) (Introduction to Business Data Analysis)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1 年次・後期
担当教員	笹嶋 宗彦	所属	社会情報科学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 企業活動から生み出される多種多様なデータから、必要なものを選び出し、良い分析を行うためには、そのデータを生み出した企業の活動の形態、特に、利益を得るしくみを理解する必要がある。本講義では、小売、製造、建設といった様々な業種がどのように利益を生み出すのか理解し、データ分析の課題とビジネスモデルを結び付けて考えられるようになることを目的とする。</p> <p>到達目標 解決すべき課題が与えられた際に、どのデータに着目すれば良いか、その業種に合った分析方法や課題解決方法は何かを判断できるようになることを目標とする。また、実際に、PBL演習やデータ分析演習において、講義内容を演習課題実施に反映させることを努力目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 様々な業種に分けてビジネスモデルを紹介する。代表的な業種から、必要に応じて講師を招き、古典的なモデルだけではなく、インターネットビジネスなど新しいモデルも紹介する。また、下記の授業計画ではあるが、招へいする講師の予定により、順番が変わることがあり、その都度、予告する。 各講師の担当回が終了する毎にレポート提出を課題とし、理解度を評価する。なお下記の授業計画については、招へいする講師予定により、順番が変わることがあり、その都度、予告する。</p> <p>授業計画 第1回 オリエンテーション データ分析と企業活動、ビジネスモデル理解の必要 第2回～14回 業種とビジネスモデル 予定業種：小売業、製造業、不動産業、サービス業(行政、販売、広告、コンサルティング、など)。 第15回 まとめ、講義内容の補足と講評</p>		
テキスト	特になし		
参考文献	外部講師と相談の上、適宜資料を指示する。毎回の予習・復習を各自行うこと		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 様々な業種とビジネスモデルを理解し、PBL演習などの授業で、分析結果をビジネスモデルに合わせて解釈ができる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 授業への取組姿勢、課題提出(レポート)を総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	社会情報科学部の必修科目であり、全員受講しなければならない。課題作成にあたり講義内容を十分に復習し、また、講義で紹介した参考文献や資料を十分に読みこなすこと。		
実践的教育	該当する。企業勤務経験のある担当教員が、ビジネスモデルを理解すべき典型的な業種を選択し、該当する企業から講師を招へいする。		
備考			